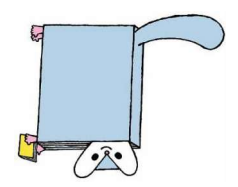
P☆PORO

ぴー☆ぽーろ



美幌町図書館だより
令和８年１１月１日
第１０３号

☏　０１５２−７３−３０１６
住所　美幌町字東１条北４丁目１５
（文責：図書館長）

図書館フェスティバルがおわりました

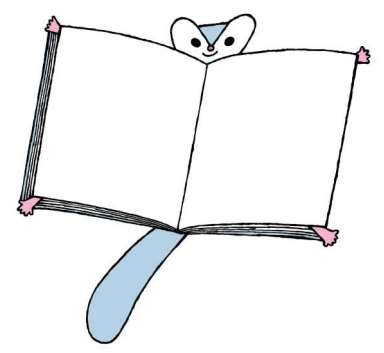
９月１９日から開催してまいりました今年の図書館フェスティバルも１０月１１日をもちまして終了いたしました。期間中は多くの皆様に来館いただきまして感謝申し上げます。中でも４日（日）の古本市には、今年も多くの皆様にお越しいただき、大きな入れ物いっぱいに購入された本を持ち帰る姿など楽しまれている姿をたくさん見ることができました。改めて本好きな町民の皆さんがいらっしゃることが実感できましたし、一度は不必要になった本を捨てることなく本を必要とする別な方の手に渡ったことを嬉しく思いました。

そして１０月１０日は、待ちに待った河﨑秋子さんをお迎えしての文学講演会。美幌町図書館ユーザーの皆様もこの日を楽しみにされている様子を感じていました。河﨑さんに直接お目にかかってみると物腰がやわらかく、そして講演が始まると話の内容がわかりやすくユーモアをたっぷり交えて伝えてくださる講演でした。予定していた９０分の講演があっという間でしたし、講演の後の質疑にも丁寧にお答えいただき、おかげさまで素敵な時間を過ごすことができました。

毎年準備に追われ大忙しな図書館フェスティバルですが、皆様との素敵な出会いの中でたくさんの笑顔が花咲く期間は充実感いっぱいに終えることができました。本当にありがとうございました。

９月の図書館利用状況

来館者	３,０７４人（前年比　−２７）
開館日数	２２日
一般の貸出冊数	３,４３１冊
児童の貸出冊数	１,３００冊
合計貸出冊数	４,７３１冊（前年比　−２１０）



一般の貸出冊数は前年度より増加しています。子供たちにも来館してもらえると嬉しいです。

１１月の主な予定

～１１月１日（日）
新聞の無償譲渡
１２日（木）
絵本とあそぼ
１４日（土）
お楽しみ文学館
１９日（木）
おはなしのへや
２１日（土）
イキイキピアノ
２５日（水）～２９日（日）
新聞の無償譲渡
２８日（土）
おはなしと工作のひろば

休館日
２日、３日、９日、１６日
２３日、２４日、２７日、３０日

ノーベル賞

１１月。今年も残り２か月になったとはにわかに信じがたくカレンダーで確かめましたが、そのことがまぎれもない事実であることにおののいています。さて、今年もノーベル賞が発表されました。新聞を読んでいますと、日本人のノーベル賞に対する関心は、世界的にみると高いとのことでした。今年も日本から受賞者が誕生し嬉しく思われていらっしゃる方もたくさんいるのではないでしょうか。化学賞に東京理科大学の硤合憲三（そあい・けんぞう）名誉教授が選ばれ、日本人の個人の受賞としては３１人目の受賞者（米国籍受賞者を含む）だそうです。授賞理由は、不斉有機化合物における非線形効果と自己触媒作用の発見というものらしいですが、どうにも難しく私には理解するのが困難でした。驚くのは、硤合氏が受賞対象の反応を発表したのが１９９５年、共同受賞のカガン氏の発見が１９８６年だったそうです。研究が評価されるまでには長い年月がかかることがわかり、こうしている間にも素晴らしい研究がたくさんなされ、次の授賞の機会を心待ちにされている方がいらっしゃることは想像できます。その中から実際に受賞されることは大変な名誉だということが改めてわかりました。

ところで私が今回ノーベル賞で注目していたのが平和賞です。受賞者は、ナビ・ピレイさんという南アフリカの方です。授賞理由は、平和と国際法の促進のための貢献。注目されるのは、ナビ・ピレイさんは、日本人の赤根智子さんが所長を務める国際刑事裁判所（ICC）の元判事であるということです。ICCは今、ICCの活動に反対する国から制裁などの危機に直面していますので、ICC元判事の受賞ということから反対勢力がどのような動きを見せるのか緊張感をもって動きをみています。もちろんノルウェー・ノーベル委員会もその現状はじゅうぶんに理解し、だからこそ一層、平和への信念をアピールしたいという思いもあったようです。そしてこの受賞に対してすぐさま圧力をかける国もあります。さらに深刻なのは、ICCの活動に反対する国の影響を受けICCの活動資金が減らされ活動するのが困難になりICCそのものが立ち行かなくなるということです。国際法という世界の秩序を維持するものがないがしろになる心配があります。これに対し赤根所長は大きな不安を抱き、「いかなる威嚇にも屈せず、被害者のために独立性と中立性を保ち職務を全うする」と声明を発表しています。この件に関していまだ解決が困難な中東の問題も絡んでいます。日本・世界の将来のためにまずは現状を理解したいものです。図書館には、７月以降の新刊として下記のような本があります。難しい問題もかなりわかりやすくは書かれていて、情勢が複雑で一筋縄ではいかないということもよくわかりました。

「そうだったのか！中東」（池上彰著・集英社）
「戦争犯罪と闘う　国際刑事裁判所は屈しない」（赤根智子著・文春新書）

水曜日の開館時間を
１９時まで延長しています。

お楽しみ文学館

〇日　　時
令和８年１２月１２日（土）
１３：３０～　９９分



〇上映作品『　九十歳。何がめでたい　』

〇監督：前田哲　　〇原作　佐藤愛子
〇出演：草笛光子、唐沢寿明
〇作品について
佐藤愛子のベストセラー・エッセイ集を、９０歳の草笛光子を主演に迎え映画化した痛快エンターテインメント。身の置き場を失った中年編集者と断筆宣言をした作家が出会い、新たな人生が開く。共演に唐沢寿明ほか。

おすすめの本

その１　「ふしぎな凶器博物館」　　潮谷　験／著　講談社

**　京都・山科にある、常識外れの凶器を収蔵する博物館を舞台に繰り広げられる新鮮なミステリーです。投石器やメロンパン、ヒーローの剣、ブラジャーといった驚きの凶器が登場し、その意外な展開にページをめくる手が止まりません。館長兼併設喫茶店店長の千手さんと個性豊かな刑事たちの絶妙な掛け合いも見どころ。王道とはひと味違う刺激的な安楽椅子探偵ものを求める方に、ぜひおすすめしたい一冊です。**

その２　「海月の骨」　朝宮　タ／著　講談社

**　納棺師や生花装飾技能士、遺品整理師が集う葬祭関係の会社に就職した水生(みお)は、特殊遺品整理課に配属される。そこは、孤独死や自殺、事件現場となった家の特殊清掃や遺品整理を担っている。水生は、先輩の鳴海と共に五十代男性、孤独死の現場へ向かうのであった。**
**　遺品整理をしながら、誰にも看取られずに逝った方々に思いを馳せる鳴海と水生。二人もまた孤独を抱えており、自分自身との人生とも重ねていくのであった。**
**　２０２５年刊「アフターブルー」の第二作ですが、本作からお読みいただいても大丈夫です。**

その３　「『頭の中のひとりごと』言いかえ図鑑」
片田　智也・川見　敦子／著　ぱる出版

**　私たちは日々、無意識のうちに「頭の中のひとりごと」をつぶやきながらすごしています。ストレスに感じた時、びっくりした時やがっかりした時、不安になった時・・・起こった出来事は変えられませんが、自分が楽でいられる捉え方を自分で決めることはできます。一説によると１日に４～６万回もになるという自分との対話を、「言いかえ」てみることで少しでも軽やかに。**

新着図書

小説・エッセイ

いちいちうるせえなありがたいね	佐藤 愛子	あさ出版
ふじさん	さくら ももこ	新潮社
朝焼けキッチンカー	秋川 滝美	ポプラ社
あたしたちのナルニア	青波 杏	早川書房
あなただけに許す距離	一木 けい	小学館
あの日のチョコレート	江國 香織	白泉社
海町、古書店ものがたり	浅倉 卓弥	ハーパーコリンズ・ジャパン
京都北山館の魔女たち	望月 麻衣	ポプラ社
残火	辻堂 ゆめ	東京創元社
小説ヒトラー 1	佐藤 賢一	集英社
少年ABCの完璧な選択	結城 真一郎	新潮社
絶遠の春	堂場 瞬一	集英社
先生が終わらない	額賀 澪	集英社
たぶん、恋しい	一穂 ミチ	新潮社
とめどなくちいさき人へ	白石 一文	祥伝社
失くしても、また	小手鞠 るい	講談社
バリキャリの子	真下 みこと	祥伝社
骨と鎖	永田 修矢	講談社
ママはもういないんだ	宇山 佳佑	朝日新聞出版
龍石流転	東郷 隆	エイチアンドアイ

実用書

AI時代に自分の頭でどう考える?	池上 彰	Gakken
本が読めない34歳がはじめてごんぎつねを読む	かまど	バーグハンバーグバーグ
世界の土偶	譽田 亜紀子	散歩舎
北海道の名城を歩く	中井 均	吉川弘文館
これだけで、逮捕	森 雅人	PHP研究所
給与明細から学ぶお金のキホン	高橋 創	日東書院本社
齋藤孝のあかるい進路相談	齋藤 孝	三笠書房
84歳、現役女医のひとり暮らし	天野 惠子	世界文化社
日本懐かし日用品大全		辰巳出版
サンリオキャラクターズの魔法のタワシ	寺西 恵里子	ブティック社
ずっとおいしく食べるためのかむかむレシピ	牛尾 理恵	自由国民社
本当においしいごはんのレシピ	山崎 宏	主婦と生活社
大きな字でわかりやすいスマートフォン超入門	リンクアップ	技術評論社
モナ・リザとルーヴルの名作たち	アリス　ハーマン	東京美術
大人のあっぷあっぷでーと	益田 ミリ	ポプラ社
北海道森と湖の日々	水越 武	北海道新聞社
もっと知りたい日本の伝統色	國本 学史	東京美術
<最新>スポーツ栄養学超入門	浜田 綾子	KADOKAWA
「語彙力」の解剖図鑑	山口 謠司	誠文堂新光社

児童書・絵本

超恐怖!SCP大図鑑	山口 敏太郎	高橋書店
ようかいのずかん	吉川 ケイタ	Gakken
はたらく細胞病気を学べる図鑑	清水 茜	講談社
森の落としもの探検帳	飯田 猛	技術評論社
こども道路交通法	山崎 聡一郎	弘文堂
音楽のひみつ366	石井 琢磨	Gakken
オレたちとニャン、たった一日の冒険	高森 美由紀	フレーベル館
ふでばこじいさん	もとした いづみ	光村図書出版
いろんないろみつけたよ	田中 千絵	福音館書店
かぼちゃものがたり	真珠 まりこ	Gakken
てんてんぐもがやってくる!	あさの ますみ	フレーベル館
どんぐりずぎゅっ	秦 直也	講談社
なにみつけたの?	おおはし えみこ	ひさかたチャイルド
パーチとマーチとフラワーさん	どい かや	教育画劇
くまさんくまさんあそぼ!（紙しばい）	長野 ヒデ子	童心社

＊この他にも新刊が多数ございます。どうぞご利用下さい。